

コミ協名：内野・五十嵐まちづくり協議会

＜基本目標1＞ 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和元年 6 月 25 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会館などを開放し、世話役を配置して多種多様な催しを実施 ○内野駅前に、子どもから高齢者まで気軽に集える地域の拠点（居場所）を開設 ○地域住民の交流促進 ○地域全体で子どもたちの健全育成を推進	地域ふれあい事業の回数増加	★地域の茶の間の実施(各自治会) ★内野DE月見酒・ピアガーデンを実施(10/29,7/28) ★夏休みこども劇場を開催(8/7・8)	★各自治会でも色々な催しを実施・回数も増加した。 ★内野まちづくりセンターや自治会会館を有意義に活用 ★盆踊りの普及と地域のコミュニケーションを図った。 ★参加者がほぼ同じ人なので対策が必要 ★虹の部屋1回/月～2回/月実施へ ★子供達への行事が少ないので増やしていきたい。
	内野地区集会施設で、ミニコンサートなどイベントを開催	★シオラマ展示会を実施(10/7・8) ★内野盆踊り大会(7/28)	
	内野盆踊り大会や内野DEアートなど地域行事を拡充	★内野まつり(9/16・17・18)★カラオケ大会(9/17) ★餅つき大会(各自治会で実施 12月) ★虹の部屋(親子の居場所作り) 1回/月	

＜基本目標2＞ 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○地域住民が日ごろから自治会役員や民生委員・児童委員と連絡が取れる関係を構築 ○防犯パトロールの充実 ○地域の安心・安全のため、セーフティスタッフの増員や防犯灯の増設	あいさつ運動や公園の清掃活動に積極的に参加	★防犯パトロールグッズの作製(ジャンパー・シート・ステッカー) ★登下校時の挨拶実施	★各自治会とも積極的に取り組んでいるので今後も継続実施していきたい。 ★町内の危険個所の洗い出しと安全マップの作製。 ★防犯灯のLED化ほぼ完了
	防犯パトロール強化月間を設定	★各自治会で夜間防犯パトロール実施(6月～9月) ★火の用心パトロール実施(7月～8月)	

＜基本目標3＞ 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○各種事業への参加者が増えるよう、地域住民への積極的な働きかけを実施	コミ協や自治会・町内会でまちに花を植える取り組みを推進。参加自治会・町内会の増加	★自治会によつては公園等に球根を植え町内で楽しんでいる	★年々定着してきているので今後も継続実施。 ★住民同士の連帯感が生まれてきた ★ゴミ出し当日でなく理由もなく前日に出す人が見られる。★住民の高齢化により何かするにしても手を出せなくなっている人が多く見られるようになった。
	定期的な町内清掃活動の実施	★内野中の生徒と海岸一斉清掃の実施 (7/16) ★内野一斉クリーンデーの実施 (6/10)	
	ごみの出し方の周知徹底について、自治会・町内会で繰り返し実施	★クリーン新潟推進委員研修会への参加	
	新川、広通川の美化活動を地域みんなで実施	★西川の土手歩道の草刈り(年2回)・・・隣接の自治会	

＜基本目標4＞ みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会・町内会の仕事はひとりに負わず、地域みんなで協力	自治会・町内会、民生委員・児童委員、大学などの情報共有促進	★他の町内との災害時の避難場所の情報共有と促進 ★内野まち協だよりの発行(年4回) ★定例会の実施(1回/月)で情報共有を図った。	★他の町内会や自治会との避難所の情報共有 ★まだまだ委員や有志だけの活動が多いので今後の取組が重要 ★何かの時は気安く手を挙げて皆で活動できる地域に取り組みたい ★最近では高齢化が進んで町内の班長等もできない人が増えてきている班が多くなってきている ★地域の情報が前に比べると自治会に入りやすくなった ★高・大学生を地域のボランティアとして活用していきたい。
	地域の情報は回覧板などを利用して積極的に住民に周知	★月2回の回覧板での情報共有 ★班長会議等で周知	
	自治会・町内会や老人クラブなどにおいて、ボランティアの募集・育成の取り組み強化		
	中・高・大学生を地域のボランティアとして積極的に活用		
	障がいがある人にも積極的に地域活動に参加してもらうことで、地域との接点を増加		

コミ協名：西内野コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和 元年 6月 27日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティセンターや自治会館・町内会館、空き家などを活用し、気軽に集まれる交流の場の開設 ○みんながあいさつをする、笑顔で明るいまちづくりの推進 ○子どもから大人まで、住民が多く参加できる行事や活動を行い、交流と親睦を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ、婦人部等と協力し、「茶の間」を増設 西内野小学校「なかよし会」を中心としたあいさつ活動の展開 コミ協活動としての盆踊り、餅つき大会の継続と地区の老人クラブ間の連携強化 親子で楽しめるスポーツ大会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・10自治会/町内会で7自治会/町内会が「茶の間」を開催中「長寿クラブ」「ささえ愛」「喜楽会」「松葉会」「明寿会」「シルバーの会」「上原にこいっちゃん」「火曜茶の間」 ・西内野小学校のPTA・なかよし会が中心になり期限を決め「あいさつ運動」を自治会/町内会で登下校時に実施 ・コミ協主催で「第29回盆踊り大会」(7/28)「第11回餅つき大会」(11/25)「高齢者日帰り研修」(10/25岩室温泉)、芸能音楽祭2回、社交ダンスパーティー2回開催、神津カテナ特別講演会「思慮深いまなざしを育むために」(10/25) ・各自治会/町内会の祭りで「子ども会」を中心イベントをおこなう。「地引綱」「餅つき」「ポーリング大会」等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新中浜茶の間」を名称変更し「ささえ愛」とし週1回以上タイプに移行(新中浜町内会) ・概ね1回/週、2回/週、1回/月、曜日を決め脳トレ、健康体操、将棋、麻雀、ちぎり絵、ヨカ教室等実施中 ・高齢者の多い自治会/町内会では参加出来ないところもあり今後の対応検討要 ・盆踊り大会で高齢者専用の見学椅子席を多数準備し好評 ・子どもの多い自治会/町内会は活発であるが少ないところは実施されなく他の町内イベントに参加させる配慮が必要

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
<ul style="list-style-type: none"> ○災害時に要援護者を支援できる地域における体制づくり ○隣近所で声をかけあい、高齢者や子どもの見守りを推進 ○防犯パトロールとともに危険箇所の点検を行い、地域の安全を確立 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、町内会単位での支援体制の組織化 社協等との連携による見守りの実施(友愛訪問事業) 防犯パトロール、老人クラブと連携した高齢者交通安全教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会/町内会共災害時における高齢者要支援体制を確立見守り隊17名が14名減数(新中浜)、お助け隊新設(広通江) ・要支援マップ、高齢者2名生活者マップ、高齢者1人マップ作成(西新町) ・社協の斡旋で緊急情報セットを希望者に配布(第7団地) ・各自治会/町内会共民生委員による高齢者の見守り活動実施 ・コミ協防犯、防災部による全自治会/町内会世帯集に応じ夜間パトロールを実施(8月下旬~10月上旬の2回/週) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護のため自治会/町内会の一部の役員及び班内で決めている。高齢化に伴い高齢者が高齢者を見守ることに限界がある。 ・ごみ搬出困難2世帯に自治会で支援(五十嵐中島) ・7人/班編成で概ね60分程度火災予防のため拍子木も打つ

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
<ul style="list-style-type: none"> ○地域における一斉清掃や花を植える活動など、住みよく緑あふれる地域づくりの促進 ○ごみの分別方法を定期的に確認し、ごみステーションの美化を促進 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化活動推進事業を活用した公園等の緑化 自治会、町内会でのクリーンにいがた推進員制度の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の公園にチューリップ植栽(ひまわり)(広通江) ・公園内の立ち木が例年大きくなり枝打ちが大変である。(行政に依頼) ・全公園清掃は期日を決め各自治会/町内会共実施された。 ・全自治会/町内会共クリーンにいがた推進制度を活用 ・分別ごみはほぼ徹底されているが時々違法がある。 ・ゴミステーションの清掃は班内で輪番制で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の必要性、管理、地権者、予算面で住民理解なし。(上新町) ・現在1ヶ所の公園があるが世帯数(700以上)から複数必要である。(市に要請中) ・リサイクルごみでまだ理解されていない住民がいる。(特に庭内の枯れ枝と材木のハギレ等)

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
<ul style="list-style-type: none"> ○広報紙の発行や掲示板の設置により、地域情報の周知と共有促進 ○コミ協、自治会・町内会と民生委員・児童委員、各種団体などの情報交換の場をつくり、連携を強化 ○町内・班での話し合いを活発にし、住民の地域活動への参加を促進 ○子どもと一緒に遊んだり、行事に参加したりするボランティアの確保 ○子どもの頃からボランティア活動に参加できる環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> コミ協だよりや自治会、町内会だよりにより地域の情報を提供 定期的に、夕映えの会など各種団体との情報交換を実施 イベントの開催など地域活動の機会を提供 地域教育コーディネーターとの連携 西内野小学校の「西っ子広場」への参加 祭り、茶の間の会、寺小屋など、子どもが参加できる行事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協だよりを発行(年3回)情報提供を行っている。 ・自治会/町内会で単独広報紙の発行「西新町だより」年2回(西新町)「新中浜だより」年6回(新中浜)「西ヶ丘かわら版」年4回(西ヶ丘) ・「夕映えの会」広報紙をコミ協を通じ全自治会/町内会に配布し回覧板方式でイベント等の情報を提供 ・コミ協の自主事業として講演会、音楽会、漫談、落語、文化祭、ダンスパーティー等幅広く提供し喜ばれている。 ・コミセン利用団体が同管理委員会からコミ協に移行されたので更に利用者が多くなった。 *独身の男女を対象に「婚活事業」を初めて開催する。(西コミセン11/3 内野まちづくりセンター2/24) ・西内野小学校、内野中学校のコーディネーターの要請で各種ボランティアが登録され活動している。 ・各自治会/町内会共子ども中心のイベントを実施 ・「学習サポートIN西内野」中学生の夏休み、冬休みの期間限定で学習支援を地元大学生、教員OBが講師になり計17回開催した 	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯数が多いところは広報紙を発行するためのマンパワーがあるが殆どの自治会は回覧板方式で情報量に限度がある。 ・「夕映えの会」がコミセンで「西内野食堂」を開催し廉価で栄養を考慮した食物を提供され喜ばれている。(隔月6回) ・利用者が多くなったことは喜ばしいが反面、小グループが利用出来ず問題もある。 ・西内野小学校「防犯教室」「まちなか探検」「昔の遊び」「遠足」「自転車の乗り方」 ・内野中学校「消火器訓練」「心肺蘇生法」「簡易担架法」 ・「新1年生歓迎会」「6年生を送る会」(西新町)「新1年生おめでとう会」「6送会」「地引綱」(新中浜)「クリスマス会」(第7団地)「6送会」(広通江)「子ども模擬店」(五十嵐中島) ・述べ167名の中学生が参加、好評であった。

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬~6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いざいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：コミュニティ中野小屋

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和
平成 元年 7月6日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○子どもからお年寄りまでが参加する多世代交流の場づくり ○隣近所同士の交流や助けあいの充実 ○老人会、婦人会などの活動の活発化	親子三代ふれあい会や瑞穂祭などの地域行事の継続	・10/8 第68回親子三代ふれあい会	・75歳以上の方を招き、地区内の幼～高齢者共、1回に1回、1日楽しく過ごしている
	集会所等を活用したお茶飲み場の開催	・各集落の集会所で婦人を中心に、お茶飲み会	・定期的に開催しているが、平々支細りである
	友愛訪問活動の活発化		
	買い物の手伝いなどの生活支援	・家族間での対応が中心	・バス路線のルートが悪く、通院、買い物は自家用車が7割で不可である
各老人クラブの連携促進	・活動は、自治会町内会単位に実施		・会員の多様化により、地区全体の活動から自治会単位になっている

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○消防団活動の活性化 ○高齢者や子どもの見守り活動の推進 ○地域における小学生の放課後支援を充実 ○不審情報等の速やかな伝達	地域と民生委員・児童委員、消防団との連携した防災への取り組み、情報共有	・学校、地区内団体との連携による、防災救急警戒の実施	・マンパワーの不足が、年々感じられる児童生徒とまじり込み対応が必要
	新聞販売店と連携した高齢者の見守り活動	・血縁者の主に対応	・親族関係の絆が強く、他人が入り込めないのが当面の現状のまま
	学校と連携した交通安全街頭指導の実施	・見守り隊の強化(小瀬小、笠木小)	・協力者が少なくなっている、防犯カメラの設置
	ふれあいスクールやひまわりクラブへの協力	・冬休みの宿題仕上げ会 ・小瀬子クラブ、笠木小ふれあいスクールの充実	・初の試みとして実施、好評につき夏休みの実施 ・少子化の及ぶ人数の増加による、充足している
セーフティスタッフ活動の強化			

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○老人憩いの家(明和荘、横尾荘)や集会所の活用 ○高齢者が外出し、交流できる場づくりの促進 ○各種サークル活動との連携 ○公共交通機関整備への働きかけ	健康教室、健康体操、ダンベル体操など健康づくり活動の実施	・学校、公民館、保健センターなどと連携、開催	・健康体操、スポーツ教室、大会などの参加者が固定している
	カラオケ大会などのイベントを実施		
	西川の清掃活動への積極的な参加を呼びかけ	・8月1日曜西川一斉清掃、市道沿路のゴミ拾い	・西区一斉クリーンデーに合わせ実施、小・中校と連携して実施
内野四ツ角を経由する区バスの運行を要望		・バス路線のルートの改善	・内野四ツ角を経由するルートに作るのを望ましい

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○学校や農協、福祉施設など各種団体との連携強化 ○自治会活動の活性化、情報発信強化 ○農業地帯であるため、後継者、担い手の育成	各種団体責任者の集いの開催	・12月中旬に毎年開催	・直面する課題の提起、共有が重要である
	自治会長研修会の開催	・自治会正副会長の研修会	・中越地震のメリアル施設の見学(次年度は今年行われた所と見学予定)
	農作業体験会の開催	・田植え収穫体験、まの神の実施(小瀬、笠木)	・各種の作業を通じて世代間交流が深まっている

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

コミ協名：コミュニティ佐湯

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成31年4月10日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○学校開放や地域施設を活用し、地域住民の交流推進 ○高齢者や子どもたちの茶の間、居場所確保 ○地域活動グループの確保	学校やメイワサンピアとの連携	集客力・知名度の高い施設の活用により活動変化 役員能く参加者により積極的に運営 地区・出来事から協議・実施の方向へ 各地区毎に参加者を募り実施	地域交流、世代交流はスポーツ祭礼、イベント等で実施。憩いの場は各地区で 退職者・フリーランス・農地所有者が多いので休日 が確保しおり参加者集めは大変苦労する
	ソフトボール大会など、スポーツ大会の開催		
	老人クラブ、婦人部等と協力した茶の間、居場所の開設		
	自治会・町内会の集会所、公民館・公会堂を有効活用		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○防犯対策を検討 ○交通事故や犯罪増加のため、防犯灯、信号機、歩道など、施設整備と環境整備を拡充 ○被災者や避難者の受け入れ施設、住居の検討、確保	高齢者や子どもたちの見守り隊の実践	具体的強化により実施。活動推進中 地区毎に取組んでいく状況。連携の必要性はない。ハザードマップを基に防災、防犯、安心・安全と 各地域で多岐に取組んでいく 理解と参加、拡充に努めているが前途は厳しい	安心・安全と意識が徐々に高まってきている 参加者協力してくれ人数が増している 特定の人に負担が残り、固定化するのには担い手 人材の発掘、確保が必要。農家が多いので 集めるのが難しい。その中で高齢者は仕事をしている
	夜間パトロールの実施		
	災害避難所マップの作成、配布		
	地元消防団との連携、消防団活動への後方支援		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○地域外の人のごみ捨てを防止する環境づくり ○自治会と学校で協力、連携したクリーンアップ活動の推進 ○高齢者の交通手段を検討 ○古くからの地域行事、慣習（慶弔や地元の確認）を通じてつながりや交流を促進 ○健康寿命をのばす予防事業などを展開	不法投棄、地域外の人のごみ捨てに対する地域での監視強化	ゴミステイ、自治連、自治会、団体でクリーン作業 景観保持に努めている 有志ボランティアを募り実施。負担は軽くなる 相手ある事なので簡単に進捗しない	清掃活動。意識改革は必要不可欠 実施、放置すると活動前に逆戻り 交通アクセスは駅から遠ざかると良くなる 改善するには環境条件と時が必要
	地域の老人クラブや親子で歩道等の環境整備		
	佐湯のクリーンアップ活動の継続		
	バス路線拡大の要望を継続		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○広報活動の活発化による情報発信の充実 ○定期的に各種団体との情報交換を実施、連携の強化 ○赤塚・みずき野・四ツ郷屋の各地区から担い手を発掘、確保 ○今のつながり「向こう三軒両隣」＝地域ネットワークの継続	コミ協や自治会・町内会の広報紙による地域情報の発信	情報の発信、周知は広報紙、回覧等で 提案は必ずしも知らしめる 地域性、独自性があるが「概ね目に見えてくる」 異なる	実現、実行可能な事からやる。コミ協が 当事者により情報共有疎通と全体的にバラン スが取れてくる。各地域の歴史、史観、慣習 の差は異なるので、特性を尊重しつつ、協調 して行く事が望まれる
	広報紙の全世帯配布（年4回）		
	コミ協の会議などで、地域の課題を話し合いながら、団体間の連携を強化		
	イベントの開催など地域活動の機会を提供し、またボランティア協力者を募集		

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：坂井輪中学校区まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和元年 6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○地域包括ケアシステムの構築とその取り組みの推進 ・高齢者への見守り・支えあいネットワークに構築 ・高齢者の孤立・孤独死の防止 ・認知症対策の推進	障害者・高齢者への取り組み	「誰でも参加できるコンサート」を宮沢勝之さんを迎え開催した。	コンサートを通して障害者・高齢者の方々の理解を深めた。今後も継続していきたい。
	自治会館・公民館等を利用し、地域の茶の間の開設	福祉部が直接自治会長宅を回り現状把握に努めると共に、各地域の茶の間にも参加し融和を図った。	新たに地域の茶の間を立ち上げに向けて準備が進み効果が図られた。自治会長の1年交代、自治会館が無い等の問題をどのように解決するかが今後の課題。
	さかい輪ふれあい収集事業	高齢化や核家族に伴い、家庭ごみの搬出が困難な世帯が増えており、今年度よりチームさかいは、チームもくらの2チームでゴミ収集を行った。	高齢化により利用者が増加傾向にある。平成29年度から日常生活支援事業として新たな体制づくりを行い2チーム編成として取り組み対応している。
	友愛訪問員の拡大 介護予防リーダー研修 認知症などの問題解決プロジェクト結成	三者合同研修会（民生児童委員、友愛訪問員、自治会役員）を年1回開催し、各自治会の現状、問題点の発表を行うと共に講師（西区健康福祉課、坂井輪診療所、社会福祉協議会）を迎え意見交換をする中で問題解決に取り組んだ。	三者合同で取り組むことにより課題が解決できるとの思いが熟成されつつあるが、地域課題を三者でどのように連携し対応して行くか、そのシステム作りが今後の課題。
○子育て支援の充実と地域子育てネットワークの構築	地域と学校との連携によるあいさつ運動の展開	地域の小中学校と連携し年2回（6月・10月）あいさつ運動を月間と位置付けて街頭に立証しあいさつを交わす運動を展開した。	各学校の先生方の指導のもと、地域の方と子どもたちが街頭に立ち自分から自然とあいさつできるような雰囲気が出てきている。あいさつ運動を継続し地域の絆を深めていきたい。
○坂井輪地区社会福祉協議会の設立	説明会開催	理事会・研修会にて説明会をした。	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○交通安全運動の推進	高齢者向けに反射材の配布	夜光反射材とその効果を記したチラシを配布した。	反射材とチラシの配布は好評を得た。継続実施し普及を図る。
	交通安全運動期間の積極的参加、街頭指導	春夏秋冬の各期に街頭指導と広報を実施した。	坂井輪地区の人身事故は減少した。
	道路等の交通安全点検事業		
	地域の安心安全・命を守ろう推進事業	(26年以降実施)安全の目印になる「のぼり旗」を通学路及び生活道路に設置した。	交通安全意識の高まりに効果が得られた。継続実施する。
○防災組織づくりと防火・防災訓練活動の推進	自主防災組織づくり支援事業	自治会役員研修と防災訓練を行って防災意識の必要性和組織づくりの啓発を行った。	自治会単位ごとに地域防災について少しずつあるが理解をしてもらっているように感じる。
	自主防災合同訓練・自治会単位防災訓練開催	防火防砂及び自然災害等に対処するため、避難場運営/AED実施/炊出し訓練を行った。	自然災害等に備えるために多くの地域住民の参加を得て、避難場運営/AED実施訓練をおこなうことによって防災に対する意識が高まった。
	坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座	大小規模災害時に対応できる人材育成として、中学生及び小学生(高学年)を対象に新潟西消防署の指導の下、レスキュージュニアチーム養成講座を行った。	講座を受講した中学生は、災害訓練を体験し、万が一の時は訓練を生かしたい。防災に対する意識高揚とその重要性と高める。
	子どものための安全教室	消防・防災活動機関の施設と活動実態、その役割などを見聞学習し身近な防災を考える機会となった。	子ども自身の防災についての意識の醸成が図られ、また地域における防災活動の可能性をそれぞれが持てるようになった。
	高齢者に対する「火の用心」一声運動	各自治会の福祉担当者を集め、高齢者に関する講演会を行うと共に、研修会を行った。	三者合同研修会のグループ討議では、高齢者に対する考え方が徐々にであるが理解れているように感じる。
	災害時要援護者に対する支援活動		
○防犯ボランティア活動等の推進	西警察署との連携による振り込め詐欺・悪徳商法等の未然防止啓蒙活動の実施	ゴールデンウィークや夏休み中の「子どもを守る防犯パトロール」の実施。寺尾駅前、新大駅前の自転車盗難防止及び商業施設の車上狙い防止パトロール及び防犯チラシ配布。高齢者対象の特殊詐欺被害防止講習会とチラシ、ポケットテッシュペーパーの配布を行った。	自転車の無施錠数は減少した。防犯漫談で楽しく防犯意識を高めることが出来た。坂井輪地区の詐欺被害額は減少した。今後とも工夫を凝らした骨導を継続する。
	防犯巡回パトロールの実施		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○地域と連携して地球環境の保全や、環境美化活動を推進	美しい坂井輪づくり環境美化活動	歩道に花を植栽したプランターを、春、秋それぞれ設置歩道の草取り等清掃活動しながら、地域の方々から見て、楽しんでいただいた。	県道44号線の歩道に、花を植えたプランターを設置し、地域の方々に、「歩道に花のある生活の快適さ」に気づいていただくことができた。協働活動は一部の自治会にとどまり活動の輪を広げる。
	坂井輪を花で飾ろう推進事業	花のある豊かな生活環境の確保及び花植えに於いて学童、保護者、住民の共同作業により地域コミュニティの意識を図る。	昨年より新大Wホームの学生さん達も加わり、小中学生の参加も多く、また、地域住民との共同作業によりコミュニティ意識が高まった。今後も幅広い年代から参加者を募り明るく楽しい生活環境を作る。
	ゴミ不法投棄防止の看板設置	西区一斉クリーンデーや環境美化活動への参加してもらうため、各自治会にPRを行った	地域自治会の高齢化などによる後継者不足が深刻で、活動にアンバランスがみられ、取り組みが周知されていない実態がある。今後の自治会組織体制づくりが重要である。
	西区一斉クリーンデーへの参加	約半数以上の自治会の参加があり、普段は清掃のできない側溝の周りや道路上の草刈りを行う。	子どもや大人同士が一緒になり、作業することでコミュニケーションが図られ、住民同士の面識も図られる作業であり、今後も継続する。
○文化、スポーツの活性化	寺尾地下道に子どもの絵画を展示	地域の保育園、幼稚園、3学校の小中学生の絵画を寺尾地下道に展示し、園児、学童の成長と絵画による触れ合いを行った。	地下道を利用する住民から子どもたちの成長、また、絵画展示の保護者・提供者から絵画制作への励みとなっている。絵画展示により環境整備が図られた。
	家族交流・多世代間交流スポーツの普及事業	グランドゴルフ等のニュースポーツを紹介し体験やミニゲームで交流を図った。	子どもどうしや家族で多数参加された、十分に交流が図られた。また、地域のスポーツ普及に役立った。
○健康づくりへの啓発活動	さかい輪健康づくりフェスタの開催	主として高齢者を対象に医療に頼ることなく健康な心身を維持し、安心して暮らせるために、日常生活で取り組める健康教室を開催。	参加者も多くなり、健康に留意する意識向上者が多くなってきた。回を重ねることにより参加者の中で男性が増えてきたことは大きな成果である。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会同士の連携・協働・ネットワーク作りの推進	自治会長・役員研修会の実施	避難所設営に関する考え方を主テーマに、災害時における各自治体の避難体制を醸成することを目的に行った。	地域の防災問題点、課題等を知り、また防災意識の啓発と地域防災活動に積極的に参加を促す効果があった。今後も更なる防災意識の高揚が求められる。今年度は東日本大震災被災地への視察も計画しより一層の意識を高めたい。
	三者合同研修会の実施	地域環境を構築するため、友愛訪問員・民生児童委員、自治会長等役員を中心に「超高齢者社会における地域の支え合い」をテーマに講演会及び研修会を行った。	自治会役員・民生委員・友愛訪問員・行政機関の役割がある程度周知されたように感じる
	行政機関との情報意見交換会実施	各行政関係機関から安心安全にかかわる事業活動の情報をいただき、参加者からの意見・要望等を議論し、各行政機関と各自治会の連携を深めた。	自治会役員・行政機関・その他関係機関との意見交換を行い各自治会役員の意識の醸成と地域活動への積極的参加を促す。
	高齢者を支える担い手育成	地域包括ケアシステム構築に向け、地域の福祉活動を円滑に進めることを目的に高齢者を支える担い手育成研修会を行った。	研修会では参加者より多くの意見が出され、地域包括ケアシステムに関する理解と関心が深まった。高齢者を支える人材育成は急務と思われる。
○コミュニティ活動の啓発	広報紙「さかい輪」とかわら版の発行	広報誌を随時発行し、まちづくり協議会でやっている地域活動の関心と理解を深めてもらう。	地域住民に坂井輪中学校区まちづくり協議会の活動内容について関心と理解が深まり、各事業への参加者が増えている。
	広報紙「大道」発行	地域の中心的な役割を担う自治会役員に対し、連合自治部活動の理解と啓発のため広報紙「大道」を発行した。	各自治会役員を含め地域住民にまちづくり協議会の活動の理解を深めると共に、地域課題等について促す効果があった。
○地域産業活性化と住民への生活情報提供	地域で頑張る産業マップづくり	地域内で頑張っている日用、雑貨店等にスポットを当て、坂井東地区と、新通地区に分けたマップを作成して地域住民にその店舗の特徴を周知し、活性化を図った。	掲載した店舗や地域住民のこのマップに対しての反響が大きく、また感謝されており、地域内産業の活性化が図られたと思われる。今後も職種別に作成していく予定

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和元年6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30~令和元年)	成果・課題等
○みんなが集まれる集会所の開設 ○地域での見守り体制を強化	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会の地域の茶の間開設の増加 (13ヶ所) まちづくり協議会では毎月2回地域の茶の間「よりどころ」・「らっくり」を開催 茶の間でチェックリストなど利用、介護の予防につなげている 	<ul style="list-style-type: none"> 29年4月から毎月地域の茶の間「らっくり」終了後、地域包括支援センターからの出張で広報。地域からの相談も受け付けている。徐々に浸透している。 33自治会を4ブロックに分け、自治会長さん直に様々な広報を行うことが出来た。 民生委員との連携を強固にすべくブロック毎に自治会長と民生委員の話し合いが出来た。自治会ごとの民生委員とのかかわり方の違いも発掘出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 茶の間が増え各自治会での交流が増えている。 包括支援センターの理解を深め重要性を認識、広報も進展しているように思える 福祉について民生委員と自治会長との相互理解と協働を推進できた。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○明るい町内づくり ○下校時間帯の子どもの見守り活動を強化	<ul style="list-style-type: none"> 一斉クリーンデー推進 町内パトロールの推進 小中学生の登下校時の安全見守り強化 交通安全部・セティー・ボランティア・坂井輪小交通安全推進協議会が一体となり登下校の安全に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉クリーンデーは校区内の通学路の点検、ゴミ拾いを89名で実施。また、1年を通して各自治会で実施 交通安全部が主体となり秋の交通安全週間に小学校近くの交差点にまちづくり協議会役員、セティースタッフ、近隣住民らと、区役所、警察と一緒に立哨した。 地域の自主防災組織の活性化の推進 (?) 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉クリーンデー実施後数日、美化はたもたれているがすぐ悪化する。市報などで地域全体に呼びかけて欲しい。 交通安全の成果が地域に広がった スクールゾーンへの進入車は多い。何とか遮断出来ないか セティースタッフの増員を希望 今まで以上に防災に対する意識の向上・改革をして身近な防災活動になるよう努める

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
	<ul style="list-style-type: none"> てくてくウォーク 餅つき大会 西川で鯉のぼり飾り・七夕祭り 茶の間でチェックリストなど利用、介護の予防につなげている 健康寿命延伸の広報に向け様々な機会に広報して行く 今年度は特定健診受診率アップをめざす 頭の体操、「短歌教室」開催 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会の一大イベントとなっている。 毎年4月西川沿いのさくらの下をウォーク さくらの開花に合わせて地域住人の健康増進、啓発に努める 地域に呼びかけ西川の大切さを学びながら地域の川として認識して貰うよう鯉のぼり飾り、七夕祭り実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年々参加者が増加 (30年度は234名が参加) 小学生、中学生、大人、高齢者が一緒に楽しめるいい機会になり、ご近所からの励ましも多い。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○まちづくり協議会の事業を広報 ○まちづくり協議会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの役員会を毎月開催、男性の交流出来る場も思案中 自治会長会議の場を広げる 外郭団体との交流を深める 健康寿命延伸の広報に向け様々な機会に広報して行く 広報紙は年2回発行 	<ul style="list-style-type: none"> 地域を4ブロックに分け、少人数での自治会長会議が数回出来た。 各自治会の専門部別に集まって貰い情報を共有する。 集まりがある度に出来るだけ健康寿命延伸について広報していく 広報紙は全世帯に配付することで活動を報告でき、知り得た情報を広く共有できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 何処の自治会も悩みは同じでブロック別の情報交換会を継続して欲しいという要望が多かった 同じ悩みを共有することで自治会役員の意識の向上に努めていきたい 自治協議会の理解が不足 広報紙は役員、スタッフの顔写真を多用することで読み手に興味を待ってもらい距離感を縮める事ができた。 記事を読んで貰うため1面には魅力ある記事掲載が必要

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名: 東青山小学校区コミュニティ協議会

2019年4月作成

〈基本目標1〉 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

○学校の地域連携室や空き店舗、空き家等の活用による地域の拠点、集会所づくりの促進	イオンコミュニティ広場の活用(地域の人が集う憩いの広場) ・絵手紙、絵画教室、おもちゃ病院等	来就園児親子の居場所の「東青山すくすく広場」「いこいの広場」「絵手紙の集い」絵画教室の「楽園季の会」「クラフトバック作り講習会」「おもちゃ病院」の開催や、「らっくり(包括支援センター)」「社協のひろば(西区社協)」等の協力の他、各自治会の総会・会議等に活用した。	「東青山すくすく広場」は、原則月4回(43回)開催し延べ890名の親子が来場。「絵手紙の集い」「楽園季の会」「クラフトバック作り講習会」参加者で、秋に合同作品展発表会を開催し地域の方約200名が来場。「おもちゃ病院」は年3回開催。11月「らっくり 介護の日 フェスタ」を共催し支援。来場者200名以上。
	東青山ふれあい祭り	第13回「東青山ふれあい祭り」を協賛し、支援した。	「東青山ふれあい祭り」は、延べ参加者2,800名。当コミ協は「駄菓子屋」を担当した。当日は雨のため体育館での開催となった。
	東青山ふれあいまちつき大会	「第4回 東青山ふれあいまちつき大会」を実施。	30年度は開催を早めて、12月8日に開催。参加者230名超・スタッフ51名。「小学生 元気はつらつピンゴゲーム大会」も同時に開催。
○町内祭りや子供会行事の開催により、地域の活性化、多世代交流を促進	お茶の間サロン	当コミ協内一部自治会が、イオンコミュニティ広場を開催場所として活用し「お茶の間サロン」を実施。	「いこいの広場」に、将棋や碁を用意して楽しんでもらった。東青山1丁目自治会がイオン コミュニティ広場で、平島地区4自治会合同で平島公民館にて、「お茶の間サロン」を月1回定期開催。

〈基本目標2〉 安心・安全に暮らせる地域づくり

○向こう三軒両隣の交流を深め、地域による安否確認等の促進	防犯協・自主防災会との連携	東青山小学校区自主防災会及び東青山小学校と連携して、「第13回地域・小学校合同避難訓練」を実施	10/12「第13回地域・小学校合同避難訓練」を実施した。参加者は児童を含め659名
	防犯パトロールの実施	東青山小学校区防犯協会と連携して、防犯パトロールを実施	年3回の防犯パトロールを実施。(7/24・8/30・12/14)
		「校区内安心安全児童見守り隊」活動の支援	日頃の防犯パトロール活動に対して、新潟市より感謝状の贈呈を受けた
	交通安全街頭指導の実施	毎月15日朝の街頭指導	東青山小学校区交通安全推進協議会・児童見守り隊と連携して交通安全の見守りを実施
	地域安全マップの活用	通学路等における危険箇所の総点検に協力	安全マップを見直し、新しく作成することにした。
	防犯灯の増設	各自治会ごとに増設やLED灯に取り換え等をした	通学路に設置してあるコミ協管理の防犯灯を、1灯増設、既存の4灯をLED灯に取り換えた。
声かけ運動の実施	各自治会ごとに実施		

〈基本目標3〉 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

○地域における環境美化活動など、地域活動の推進 ○車中心から歩行者中心のまちづくりへの促進転換 ○自転車歩行者道を活用した健康づくり	花いっぱい運動の実施(公園・道路等)	「まちの緑化運動」推進キャンペーンを実施。当コミ協内のいくつかの自治会で「花いっぱい運動」を実施	当コミ協内のいくつかの自治会で、年間を通じて「花いっぱい運動」を実施
	古紙集団回収の実施	各自治会ごとに実施	
	ゴミの不法投棄や犬のフン放置などに対する注意喚起看板の設置	「西区一斉クリーンデー」を実施。同時に「蚊の撲滅運動」を展開 「犬の糞対策」のキャンペーンを実施	8/5「西区一斉クリーンデー」を実施。参加者165名(小針中学校生徒も地域貢献として参加) 「犬の糞対策」のキャンペーンを「コミ協だより」に掲載等
	健康ウォーキングの実施		

〈基本目標4〉 みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

○民生委員・児童委員と自治会との連携強化 ○回覧板、掲示板等の有効活用による広報活動の強化 ○コミ協、自治会役員のレベルアップ研修やボランティア講座の充実 ○子ども連や学生をはじめ、多くの人の力を取り入れ、地域活動を活性化	コミ協・自治会・民児協等の連携、地域合同情報交換会の実施	地域合同情報交換会実施	地域合同情報交換会を6月に56名参加で実施した。
	「コミ協だより」を年数回発行	「コミ協だより」を発行	「コミ協だより」を、定期号2回・臨時号を発行した。
	講演会、講習会の実施	文化講演会を実施	小針中育成協との協力のもと、「古賀 稔彦講演会」11/26 実施。
	掲示板の整備		防犯掲示板の整備は、申請を行ったが申請団体多数の為、不交付
	自治会長連絡会議の開催(年2回)	自治会長連絡会の開催	年2回実施(6月・12月)
			「西区一斉クリーンデー」に小針中学校生徒も地域貢献として参加 小針中学校生徒との「地域ふれあい交流会」を初めて企画し、実施

コミ協名 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助け合う地域づくり

令和 1 年 6 月 30 日

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
地域の茶の間を増設		<ul style="list-style-type: none"> ●自治会ごとに1か所ずつ設置できるよう推進した。 ●各自治会では、月1回、月2回、又は曜日を決め月4回と様々な形で「茶の間」を開催した。開催時には包括支援センター職員や保健師の健康指導等を受け、健康寿命の延伸に取り組んだり、三味線やアコーディオンの伴奏で歌を唄ったり、麻雀、囲碁、手芸、折り紙等、指先を使い老化防止に取り組んだ。 ●茶話会(茶の間)と敬老会を合同で開催し、西警察署員から高齢者の交通安全について、お聴きし、交通事故防止に取り組んだ。又、昼食をとりながら交流を図り、集合できない高齢者へは 祝い品をお届けした。これを年中行事としている自治会もある。 ●老人クラブと連携し、「茶の間」や「敬老会」の開催に取り組んでいる自治会もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●茶の間では、依然として男性の参加が少ないのが課題である。 ●お茶の間を毎週火曜日に開催している。その内、月1回をパソコン、スマホ、脳トレ等を楽しむ会として、開催できて良かった。 ●茶の間では、「ヤクルト」の協力を得て講演会を5回開催する事が出来た。 ●茶の間の活発化することにより参加者数が増えている自治会もあるが、減っている自治会もある。マンネリ化しないよう新たなテーマを発掘し、住民に周知し参加者増を募る必要がある。又、スタッフの高齢化が進んでいる、若返りが必要である。 ●居場所作りは高齢社会には必要なことだと実感した。自治会では高齢者が多くなっており、家庭に閉じこもりがちな生活をしている一人暮らしも多い。空き家を利用して居場所作りが出来れば良いと考えている。
空き家の有効活用		<ul style="list-style-type: none"> ●集会所、(茶の間の会場)として借り入れ出来た自治会もあったが、条件が合わず難攻している自治会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家を借り入れでき、「茶の間」や行事が開催できた町内もあったが、交渉が難航し借り入れできなかった町内もある。
五十嵐フレンドスクール、ひまわりクラブ、ふうせんクラブ、五十嵐スポーツ振興会など各種団体と地域が協力して実施		<ul style="list-style-type: none"> ●五十嵐フレンドスクール、ひまわりクラブ、ふうせんクラブは民生委員の協力をいただき活動している。又、五十嵐フレンドスクールへは、町内の「子ども部」も参加し協力している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●五十嵐フレンドスクールのボランティア募集や、ふうせんクラブへのお誘いを積極的に呼びかけたいと思っている。
地域の祭りやサークル活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> ●日帰りのミニバス旅行、ふるさと歴史探訪ウォーキング、敬老会、新年会等を行い住民との交流を深めた。 ●毎年夏休みに入ると祭りを開催する町内(自治会)がある。子ども樽きぬたや、お神輿で町内を巡回し大盛況だった。 ●地域の公園やコミュニティハウスを利用し公園祭りやクリスマス会、忘年会、豆まきを行い三世代交流事業を実施した。 ●子ども会と共催でバーベキュー大会、餅つき大会、収穫祭、いも煮会を行い三世代交流を図った。 ●自治会内にある学園の祭りを住民に周知し、学園と地域の交流の場を設けた。 ●自治会主催で納涼祭を開催し、新大のダンスサークルを招き交流を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種イベントへの参加者が増え、親子一緒に楽しく過ごすことが出来、世代交流の場となった。今後も続けて行きたい。 ●クリスマス会で子ども連と一緒にケーキを作り、高齢者に配つたところ、とても好評だった。 ●各々のサークルは活発に活動しているが新規会員が増えない。 ●学園祭の参加を呼びかけ、住民と学生との親睦を深めることが出来た。 ●交流事業終了後、子どもに限らず住民が互いに声を掛け合う様になり、世代間交流の成果が大であった。
坂井輪まつりへの協力		<ul style="list-style-type: none"> ●自治会では駐車場の管理及び交通整理に協力し、民生委員はフリーマーケットの販売委員として参加した。 ●前夜祭や当日の「テント張り」の手伝いや、集会場を控室として提供した。 ●交通安全協会西支部に協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も継続し協力していきたい。

<基本目標2> 安心・安全暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
あいさつ運動、声かけ運動の実施		<ul style="list-style-type: none"> ●新入学時や交通安全週間(街頭指導)に合わせ、コミ協で用意した、あいさつ運動の「のぼり旗」を設置し「声掛け運動」を、又は火の用心の「のぼり旗」を設置し防火につとめた。 ●通勤、通学の時間帯に「あいさつ運動」を行った。又、近所(向こう三軒両隣)へ積極的に「声かけ運動」を行った。 ●小学校の仲良し子供会に参加し「交通安全」や「あいさつ運動」を推進した。 ●警察官同行で夜間防犯パトロールを実施した。 ●下校時の「児童の見守り」を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●組織がしっかりしてきたためか、「見守りや挨拶」が良く行われているように感じた。 ●通勤、通学者が自ら声をかけてくれるようになり、あいさつ運動が浸透しつつあることを実感した。 ●常日頃、誰もが気軽に声かけが出来る「安心安全な街づくり」を目指したい。
気づき運動(近所の様子への気配り)の実施		<ul style="list-style-type: none"> ●友愛訪問活動を実施している中、住民の死に立ち会うことがあった。見守り活動に力を入れた。 ●高齢者、一人暮らし、障がい者等の世帯を定期的に訪問した、時には民生委員が同行するケースもあった。 ●「ほどよい、向こう三軒両隣」を築くことを「茶の間の努力目標」とし住民へ周知した。 ●班ごとに福祉支援員を配置し、見守り、気づき運動を実施し、情報交換会を行い見守り活動に役立てている。 ●積極的に訪問はしないが気になるケースは近隣で気配りし見守っている。 ●ゴミ出し支援をしながら見守り活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人暮らしの高齢者へ定期的に訪問し、見守り、安否確認を行って、対象者から大変喜ばれた。 ●高齢者の孤独死があった。今後も「見守り」、「気づき運動」の強化を図りたい。 ●道路、玄関先の飛散物撤去や、樹木の剪定をした。クリーンにいかた推進員の知名度向上となった。 ●高齢者を見守る為、社協が進めるゴミ出し支援や友愛訪問活動を広げたい。
セーフティスタッフ活動(登下校時の見守り等)の活発化		<ul style="list-style-type: none"> ●見守り隊を立ち上げるため隊員を募集した。 ●毎日、セーフティスタッフと見守り隊員が組んで、登下校の見守りを行った。 ●春、秋の交通安全運動期間に立哨し、児童へ声掛けを行った。 ●毎朝、セーフティスタッフが小学校入口交差点で交通指導と見守りを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●来年度も見守り隊員の募集に努力する。 ●小学校の保護者からセーフティスタッフや見守り員へ感謝の言葉が多く寄せられた。
地域の安全マップの活用、情報共有		<ul style="list-style-type: none"> ●五十嵐小学校の町内子供会に参加し、自治会内の危険箇所を子どもから教えてもらい大変、参考になった。 ●自治会の住宅地図を作り各世帯へ配布し、情報の共有を図った。 ●西区役所の支援で避難経路マップを作成し全戸配布した自治会があった。 ●自治会と育成部では年4回、危険箇所や交通状況等の町内パトロールを行い、結果を五十嵐小学校へ報告した。 ●学生アハートが多い地区では、年度初めに学生向けに「ゴミ出しルール」を作成し周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の避難場所と、その経路について再確認し、情報の共有を図った。 ●学生のゴミ出しについて住民の皆さんが頭を悩ましている。「ゴミ出しルール」について今後も色々なアイデアを出し考えて行きたい。 ●町内パトロールを実施して、意外なところに危険箇所があるのに気付いた。
防災訓練への積極的な参加		<ul style="list-style-type: none"> ●コミ協主催の防災訓練を実施し、会場近隣の自治会へ参加を呼び掛けた。 ●自治会独自で計画を立て住民へ参加を呼びかけ毎年、防災訓練を実施している。 ●近隣の自治会と合同で防災訓練を実施した。又、町内の科学技術学園の学生の参加を得て実施した町内もあった。 ●班長と役員が西区役所職員から「避難所を開設する為の訓練」の指導を受けた。 ●防災対応の為、避難場所として炊き出し訓練を実施した。 ●新潟大学の第一体育館が避難場所として割り当てられたので住民へ周知徹底を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣の自治会と合同で防災訓練を行ったことで、参加者が増え防災意識も高まった。 ●町内の防災意識が高まったと同時に、「学園や学生と一緒に訓練が出来た」と大変喜ばれた。又、他の自治会では世帯の1/3が防災訓練に参加した。今後、さらに参加者が増えるよう努めたい。 ●新大周辺は自治会が多い。避難場所として新大の第一体育館が確保でき安心感が増した。(徒歩移動の範囲内である。) ●避難訓練を実施したが参加者が非常に少なく開催日の検討が必要だと思った。 ●世帯の少ない自治会の為、コミ協主催の防災訓練に多数参加するよう努力したい。 ●秋の「火災予防運動」期間中、子ども会、保護者、役員による「火の用心」の巡回を実施し「火災予防」に努めた。 ●防災訓練の内容がマンネリ化をしないよう計画したい。 ●自治会単独の訓練だった為、実際の避難所を利用することが出来なかった。他の自治会と合同で避難所での訓練が出来るようにしたい。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○寺尾中央公園をはじめ、公共施設の有効活用	朝のラジオ体操、健康体操の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●寺尾中央公園では毎朝、ラジオ体操や健康体操等に利用しているグループがいくつかある。利用時間等でトラブルにならないよう見守った。 ●夏休みに入ると各自治会は公園や商店、銀行、学校等の駐車場を借りラジオ体操を行った。未就学児童から高齢者まで参加を呼び掛けた。又、実施する前に子ども達が安全に動けるよう、公園の草取りや石ころ拾い、草木の消毒を行い環境整備に努めた。 ●ある自治会では小学生が2人だけである。他の自治会へ寄せてもらいラジオ体操を実施した。 ●夏休み期間中のラジオ体操は地域の公園で育成部が中心となり行った。 ●ある自治会では毎月2回、公園の草取りを行い「住民の憩いの場」として利用し、夏休みはラジオ体操会場に利用した。 ●コミ協では、コミュニティハウスを利用し、自ら続ける健康習慣「健康へのナビガイド」を開催し「住民の健康づくり」に取り組むと同時に、各自治会への普及に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●寺尾中央公園の朝のラジオ体操や健康体操は利用者が増加している。お互いが時間をずらし利用しているので、トラブルもない。夕方になると散歩やウォーキング等、大勢の方々が利用している ●ある自治会では、公園の草取りを年3回実施。2回業者へ依頼し、1回は住民で行い世代間交流を図った。 ●未就学児童から高齢者まで多数参加している地区もあり、世代間交流の場となった。 ●子供だけで大人の参加が非常に少ない地区もあり、地区によりバラつきがあった。(大人の参加率を上げる工夫が必要だ。) ●育成部員のおかげでスムーズにラジオ体操が実施でき、非常に助かった。 ●ラジオ体操の企画、運営を育成部が担っているが育成部員だけでなく、自治会も協力する必要があると思っている。 ●憩いの場の確保や公園愛護の観点から、毎月、自治会内の公園の草取りを行い、気持ちよく利用していただけた。 ●町内会全員で除草、清掃活動を行い、町内の交流の場となり大変良かった。今後も継続して実施していきたい。 ●常日頃、公園内を綺麗に清掃しているせいか、安心して子供を遊ばせている様子が見受けられた。
	利用に当たってのルールづくり、環境整備(ボール遊びや自転車乗車など、禁止されている使用方法を可能とする時間帯を設定)	<ul style="list-style-type: none"> ●公園の草取りや石ころ拾いを行い安全に遊べるように環境整備に努めた。 ●個人的に中央公園の一部を子どもたちのボール遊びに出来るよう市役所へお願いしたが成果がなかった。(子ども達がボール遊びをする場所がない。) ●地域の公園でのボール遊びについて、近隣からの苦情があったため、迷惑にならない遊び方を各家庭で話し合ってもらったこととした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●公園を清掃、環境整備をしたら子ども達が良く遊ぶようになった。地域以外の子どもの利用が増えたことは、喜ばしいことであるが、エアガンを持ち込んで遊んでいる小学生がおり、住民との間にトラブルとなり困った。 ●地域内ではボール投げをして遊ぶ場所がないため、寺尾中央公園内でボール遊びが出来るよう検討してほしい。 ●町内子ども会の場や、回覧板を活用して、正しいボールの遊び方について考えてもらった結果、近所からの苦情もなくなった。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報交友とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会・民生委員・児童委員・学校・行政・社協などの連携強化	定期的な連絡会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●コミ協では役員会を月1回、理事会(自治会長)を5回開催し、総会には民生委員、保護司、商工振興会、各福祉団体等の参加を得て開催した。 ●年度初めに総会を、役員会を偶数月に、役員と班長の合同会議を奇数月に開催する自治会がある。一方、総会のみ自治会もある。中では総会を開かない自治会もあり、自治会毎にバラつきがある。 ●自治会の執行部役員はコミ協主催の各部会に出席し情報を住民へ周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●会議を定期的開催するようになり自治会運営が円滑になった。 ●定期的に会議を開催し自治会活動を活性化させたい。
	自治会単位(班、組などの小グループ)での話し合いの実施	<ul style="list-style-type: none"> ●役員会を隔月に、班長との合同会議を年4回開催。(役員会に民生委員の出席を依頼し情報を共有した。) ●自治会内での連携、情報を共有するよう意識して役員会に取り組んだ。細かな事柄でも会長、副会長が常に連絡を取り合う体制を強化した。又、冬場の除雪についても自治会員が行うための連絡網を全戸配布し大雪に備えた。 ●総会、役員会、班長会議を開催した。特に班会議を積極的に開催するよう提案した。 ●自治会内の喫茶店を会場とし役員会、班会議等を開いた。(和やかな雰囲気話せ良かった。) ●青年部が積極的に行事に参加してくれるので連携が上手くとれている。 ●民生委員が自治会の理事や友愛訪問員を兼ねている為、意思の疎通がうまくとれた。又、お茶の間にも積極的に関わってもらっている。 ●班毎に福祉支援員を設け見守り、気づき運動を実施し、情報交換を年2回行い活動の活性化を図った。 ●自治会の会議は総会のみで、重要案件がある時だけ班会議を開いている。又、総会、役員会の議事録を回覧して情報の伝達をしている自治会もある。 ●年2回、側溝清掃を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●役員、班長との合同会議を開催し自治会活動の活性化を図った。又、班会議の会場費を助成したら開催が活発になった。 ●自治会活動の基本は班単位なので、相互の理解を深めるためには、班活動の活性化が必要だ。 ●定期的に班会議を開くことが出来なかった。班会議、部会員会議を細目に開催することが、自治会運営の円滑に繋がる。今後、計画的に開催するよう努力したい。 ●総会を開いていない。(住民の要望や意見を聞けるよう総会を開く努力をしたい。) ●青年部の積極的な活動に期待している。 ●民生委員には、自治会や区役所、西区社会福祉協議会の連絡調整をして頂き、問題解決に結びつけることが出来、大変助かった。(自治会と民生委員との連携は上手くいっている。) ●側溝清掃を通して近隣の方々の交流や危険箇所の発見が出来た。(新潟市から側溝の修理をしてもらった。) ●カーブミラーの設置の要望が多く有るが、予算が決まっているので優先順位を決めるのが難しい。
	地域の広報誌発行	<ul style="list-style-type: none"> ●コミ協だより「砂丘」を年2回、コミ協ミニ通信を年4回発行した。 ●自治会だより(会報)を年3回～6回発行している自治会もあるが、1回の発行もない自治会もあり、バラつきがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会だよりを発行することにより、町内の状況(動き)が把握でき、隣り近所へ声が掛けやすくなった。又、回覧板を「見た日にち」を見て、高齢者の安否確認の参考にした。
	地域住民の知識、技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●「おしゃべりお茶の間」の一環としてパソコン教室を毎月4回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコン教室で自治会行事のポスターを作成し掲示板に貼り、住民へ周知した。
	地域活動の担い手の発掘	<ul style="list-style-type: none"> ●町内行事を通し役員以外の参加者に対し自治会活動を理解してもらい、協力体制の強化に努めた。 ●友愛訪問員及び、クリーンにいがた推進員の拡充に取り組んだ。 ●海岸清掃、海岸遊歩道の除草作業に参加した。 ●青年部と各部会が連携し、協力し合い、自治会活動(イベント)を活発に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年々、町内活動の参加に消極的な人たちが増えている。特に役員を選出には苦慮しており、役員の負担の軽減策を模索中である。(自治会役員のみならず役員がいない困っている。) ●役員を輪番制にしたらフルタイムで働いている人や、高齢者が役員になることがあり、自治会活動に大きな制限を受ける事があり困っている。 ●「青年部」を設立することが出来、新しい発想で、より活動が活発になった。 ●海岸清掃、海岸遊歩道の除草作業の参加者数を増やしたい。 ●各部会間の連携を密にし又、老人会や育成部と連携を取り合い、自治会活動を活性化したい。

・茶の間の開催は、21自治会の内9自治会が開催している。
 ・茶の間を開催したいが集会場がない、コミュニティハウスは遠すぎ不便である。空き家に限らず開催場所を早く見つけたい。
 ・回答 全自治会回答 21/21

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：真砂小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和
平成 1年6月 / 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○認知症の人を支えるしくみづくりの推進	認知症サポーター養成講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○コミ協主催事業で「認知症に関する講座開催 ○各自治会長3名他各自治会役員に女性多額登用 ○自治会役員・民生委員・防災役員・班長等による連携による確認の実施 ○「おたすけ隊」の自治会実施中 ○コミ協人材センター設立に向けて準備中 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会での開催促進 ・各自治会へ女性登用が増えている。 ・組織化している自治会は増加傾向にある。 ・引き続き人材センター設立に向けて検討中
○女性の地域活動参加を促進	自治会役員等の女性登用		
○高齢者や障がい者の買い物支援の検討	向こう三軒両隣の助けあい活動 支援組織（グループ）の立ち上げ 地域の商店への働きかけ（宅配）		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○安全な通学路の確保（防犯、交通安全）	子どもたちを気づかい見守る人を育成	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度地域連絡会・PTA・交通安全連絡協議会等が区内北側・セーフティゾーン見守り・交通安全防犯隊の巡回・防犯パトロールを実施。 ○自治会駐防隊で防犯訓練実施 ○コミ協で「キャンプ体験教室」「中越防災施設見学」 ○狭い道路の拡幅や私道・坊道除雪の改善を要望 ○空き地・空き家対策を市に要望中 ○除雪ボランティアの自治会組織 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全・防犯対策に成果を上げている。引き続き実施 ・引き続きコミ協での地域防災対策事業実施 ・組織化を促進
○自主防災活動の活性化	防災研修、活動交流の推進 自主防災組織の立ち上げ（未組織の自治会）		
○防災に対応した生活道路の整備 ○空き家、空き地問題の対策検討	道路整備や空き家対策の行政への働きかけ		
○除雪要援護世帯への支援	除雪ボランティアの組織づくり		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○スポーツを通じた健康増進（介護予防を若い世代から）	健康増進体操等の講座を推進 健康講座指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○コミ協スポーツ部会をスポーツ健康教室として開催 ○コミ協福祉部会へ健康増進講座を開催 ○コミ協人材センター設立に向けて検討中 ○「地域茶の間」6ヶ所開催中。 ○「地域文化活動」の推進とまちづくりとして（地域）コミュニティホールの建設を要望中 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を期待しながら引き続き開催。 ・引き続き検討中 ・令和元年度1ヶ所開設予定 開設検討中
○高齢者の引きこもり対策	自治会単位で地域の茶の間を開設 高齢者が集まって、運動や趣味活動、交流ができる場づくり		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○地域課題の把握	住民アンケートの実施 座談会の開催地域を増加	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度に実施。これを参考に「真砂地域活性化5ヶ年計画（平成27～31年度）」を策定 ○自治会と病院・施設等との座談会を持つ自治会が増えている。 ○小・中学校・明倫短期大学と情報交換体制を構築。 ○「地域茶の間」を立ち上げ活動中の自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化5ヶ年計画の推進 ・小・明倫短大・コミ協連携文化祭を5ヶ所 ・明倫短大の学生による地域の木立センターの交流に関する交流会を行う。
○小・中学校、高校、大学や病院、福祉施設等と地域のネットワーク強化（多世代交流含む）	自治会と民生委員・児童委員の情報の共有化		
○地域の生活環境の改善	地域と学校や病院、福祉施設等の共催事業の開催 ゴミの出し方、ペットのマナー等のルールの徹底		

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

コミ協名：青山小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和 元年 6 月 20 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○交流拠点の充実 児童、障がい者、高齢者など地域住民の交流の場としての茶の間を充実	既存の茶の間との連携強化 有明福祉会館、青山コミュニティハウス、マナの家、個人宅など7か所	①有明福祉会館(なごみの部屋・月2)らっくり・月1)2コミハ(さくら会・毎週)(閑屋堀割町・月1)(青山さくら会・月1)(フランタン・月2)(キンヨウカイ・月2)③マナの家(たまり場・週1)④他、自治会・個人宅等7か所・・・開催状況把握と順次広報紙に内容を掲載し紹介している	コミ協として、活動内容や対象者等の把握だけでなく、地域の人々に情報発信や参加増加へつながる組織としての課題への取り組みが重要であると認識している
	新たな茶の間の開設に向けた活動の展開 空き家、空き店舗の活用	① 赤ちゃんと母親を対象に月一回「おしゃべりカフェ」 ② 浦山自治協で月二回を目標に「いきいき健康づくり」の集い定例開催	① 123組の親子さんが参加、だっこボランティア含め総数420人 子育ての情報交換、ボランティアとのふれあい事業・対前年比参加者減少 ② 毎月20人以上の参加者で、年間累計542人 健康寿命延長を目指し、簡単に出来るヨガ体操を主に実施した 月二回開催を要望により実施した
○日常生活における助けあい活動の強化	助けあい組織の確立	① 要援護者の自治会ごとの情報把握と支援体制づくり ② ほとんどの自治会で実施している ③ 友愛訪問世帯が増加している ④ ボランティアスタッフ・民生児童委員・婦人会等による訪問活動	新設の茶の間拡大と既存の茶の間の参加人数の増加
	地域に根差した活動の展開		友愛訪問活動と自治会・包括支援センター・区保健師・民生児童委員・社会福祉協議会との連携への具体的な対応 助け合いの具体的なシステムと支援体制の構築が課題

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○災害時における対応の強化	自治会、民児協などとの連携強化	自治会長・町内会長はコミ協内役員と兼務や繋がりがあり、民児協とも、福祉会館活動を含め普段時から連携を維持	今後も、有明・浦山の両自治協及び民児協との連携協力が重要と認識しているが、実務面では課題や不安面もある
	青山小学校との連携強化	青山小学校やPTA及び青少年育成協議会とも、学校行事を含め連携を維持継続中	災害、防犯想定のみならず、ふれあいスクールや学校行事とのかわりかわりを地域全体で課題 緊急メール配信システムの登録者全体で500名以上
	防災訓練の継続実施 有明・浦山合同開催	青山小学校地区自主防災会組織の立ち上げ 青山小学校での児童を含めた合同防災会の実施	青山小学校での合同開催は初であり、雨で訓練内容変更や限られた時間内での制約等、いろんな反省点や改善提案もあり 今後の訓練に活かす課題も多かった
○交通安全活動の推進	通学路の安全確保	セーフティスタッフや各自治会のPTAの通学時や退校時の安全指導と見守り活動 青山セーフティスタッフの登録者の募集	登録者は保護者登録を含め90名以上 通学路の危険箇所の点検と現地確認(防犯マップ、全戸配布) ベスト・腕章・帽子を作製、活動時着用とながらパトロールの依頼
○防犯活動の啓発	防犯・交通安全体制の拡充	防犯ポスターや交通安全週間の旗を掲げて啓蒙活動 通学路(青山小)登下校時の、地域見守り活動の強化	緊急メール配信システム登録者が500人以上と情報伝達網不審者情報の掲示等で情報早期共有化の立ち上げ
○日常の見守り活動の推進 認知症高齢者や幼児・児童などの見守り活動の充実	茶の間の充実と拡大	「おしゃべりカフェ」や「いきいき健康づくりの集い」のように気軽に参加の確保	参加者は増加しているものと減少傾向が見られるものの、実施内容等は徐々に浸透している 参加者の固定化から、家からあまり出ない層への働きかけが課題
	自治会、民児協、PTAなど地域組織団体との協力体制の強化	青山小学校のふれあいスクールや児童センターの児童の見守り活動は体制が出来ている	会長やスタッフの高齢化と民生児童委員を含め引き受けてくれる人材、なり手不足は全ての組織の課題である
	セーフティスタッフの活動推進	セーフティスタッフや各自治会のPTAの通学時や退校時の安全指導と見守り活動 青山セーフティスタッフの登録者の募集	30年度登録者は90名以上 今後の登録者の更新やセーフティ活動用品の管理等課題もあり
	友愛訪問活動への協力 取り組み自治会への協力拡大	① 要援護者の自治会ごとの情報把握と支援体制づくり ② 友愛訪問世帯が増加している ③ ボランティアスタッフ・民生児童委員・婦人会等による訪問活動	活動の具体的な状況や問題点の把握及び情報の共有化が課題点 地域包括支援システムに向けての具体的な行動指針の構築等課題は大きい

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○有明福祉タウンや各福祉施設・医療機関との共生	施設及び地域防災訓練への参加協力	各自治会ごとの自主防災訓練の内容把握と側面支援	合同防災訓練については、成果・課題点は把握 自治会単独の防災訓練については、報告を受けるような態勢もしていない
	福祉タウンとの連絡会、懇談会の開催	児童セーターとの意見交換や行事等の協力	イベントへの参加要請に対応できるような体制づくり
	有明福祉会館の活用	青山コミュニティハウスが浦山地区にあり、有明地区自治協の活動拠点として、重要視している	福祉部検討会や福祉講演会等、福祉部中心に活用できて良かった。なごみの部屋や有明らっくりの拠点としても重要視している
	有明福祉タウン行事への参加協力	有明児童センターを含め、各行事への共催と後援	浦山は青山コミュニティハウス、有明は有明福祉タウンの拠点として今後も活用 行事については、これからも相互に理解しあいながら連携していく
	有明ふれあい夏まつりの共同開催 有明福祉タウンとの合同行事	有明ふれあい夏まつりに浦山自治協も計画段階から参加協力	夏の暑い時期の開催についての反省意見があった 地域の世代間交流行事として今後も実施していくが開催時期の再検討が課題
○地域交流のためのイベント開催	世代間交流事業への援助協力 そうめん流しの実施	児童センターの児童や有明タウンの高齢者主体に、8月6日に実施	参加者も児童センターと福祉タウン入居者や福祉会館利用者と固定化しており、衛生面からも一般には案内しなかった 行事運営面や準備段階での負担軽減上の課題を認識している
	有明地区ふれあいの集い、浦山地区ふれあいの集いの実施	有明地区：9月18日(火)有明園にて実施 浦山地区：9月10日(月)じよいあす新潟会館にて実施	有明地区は対象80歳から(全体で127名)、浦山地区は75歳で実施(全体で118名) 楽しめる敬老お祝い会としての内容面の充実
	環境整備活動への援助協力 関屋分水清掃及び花文字活動など	5月26日(土)に花文字花壇作り 7月29日(日)信濃川クリーン作戦を開催	花文字の植栽参加者は増加、その後の水やりや草取りの課題、信濃川クリーン作戦は自治会役員を中心とした人員が固定化から一般参加者の働きかけが課題

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○情報共有のための地域ネットワークづくり	施設の広報紙などの配布・回覧	有明自治会8、浦山自治会13あり、青山コミハに各自治会ごとの設置棚があり、配布回覧依頼は容易	近所付き合いのツールになればと期待している
	自治会、民児協、高齢者・障がい者団体などの地域団体をはじめ、有明福祉タウン、青山小学校、青山コミュニティハウス、コンビニ、郵便局、薬局、新聞販売店、牛乳販売業者などとの連携強化	地域包括ケアシステムづくりに向けての確認段階	地域包括ケアシステム(案)の具現化への対応。自治会役員・福祉担当・民児委員・友愛訪問員・地域福祉活動関係者等の福祉関係者交流会の継続開催やこれからのネットワーク作りや連携強化が課題である 「いきいき健康づくりの集い」「有明らっくり」等地域の茶の間の開催に補助金活用の検討
○広報紙(情報紙)の発行	コミ協だよりの活用	地域の行事や青山小学校PTA、育成協の活動や自治会・町内会の動向などをタイムリーに年三回広報を発行し、小学校区全戸に配布	興味を持たれる紙面づくりと、編集スタッフ後継者づくりが課題 発行時期についての検討提言あり(3月年度末の発行分)
	掲示(各種店舗の掲示コーナーの活用)	地区図書室を兼ねている青山コミュニティハウスに催事の都度、廊下に写真を掲示 行事ポスター等は、福祉会館や商店に依頼	行事参加者増加につながるのを期待している 今後もタイムリーな広報活動を目指す

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：小針小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和元年 7月10日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○声かけや見守りの強化	隣近所と日頃のお付き合い	自治会活動の一環として推進中	毎年成果が表れている。
○困った時に「助けて」と言える地域づくり	友愛訪問の立ち上げと実践推進	民生委員、自治会有志の協力による友愛訪問箇所の強化	多くの自治会に友愛訪問制度が確立されているが、新しい自治会では未確立が見られる。
○多世代交流の活性化	多世代が交流できる行事の開催	納涼祭、敬老会、新年会、仲よし子供会行事など開催する。	自治会、コミ協などの事業を開催し活性化が見られる。
○地域の問題や困りごと相談	アンケート、意見交換会の開催（自治会単位）	コミ協定期総会、部会、懇談会などで地域課題の意見交換を行う。	コミ協定期総会、部会、懇談会などで意見交換を図り一部改善が図られた。
○高齢者の交流の場を増やす	交流のための集会所確保	自治会集会所などで「茶の間」開設を導入する。	一部自治会及び西社協、包括支援センターで定期的に開設している。
	老人クラブの加入促進	老人クラブの活性化と活動推進を図る。	老人クラブの入会者減少による活動停止と、クラブ消滅が見られる。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○空き家や空き地の対策	空き家・空き地マップ作り	コミ協・自治会役員、大学生による空き家実態調査と活用を推進する。	空き家実態調査と活用マップを作成し、関係自治会に提供した。
○路上駐車防止や交通安全の取り組み	学校通学路、危険道路等の指導	登下校の子ども見守り強化と見守り支援者を増やす。	見守り支援者の高齢化に伴う減少に課題が残された。
○地域防災力の強化	避難場所の周知と防災訓練の参加促進	防災訓練、避難所運営研修会などの開催で強化を図る。	自治会、コミ協主催の防災訓練、避難所運営研修会を開催し強化が図られた。
○ゴミ出しマナー違反の減少と対策	ゴミ置き場の定期的な実態調査と指導	西区一斉クリーンデーの参加及びごみ問題研修会の開催により周知を図る。	自治会ごみ置き場の課題解決と、地域美化向上が図られた。
	高齢者向けゴミ分別カレンダーを作成（行政へ提案）	研修会などで関係機関に要望する。	研修会などで関係機関に要望したが、作成されなかった。
○子ども達の遊び場の増設（屋内外施設）	公園の整備・充実を推進	関係機関に要望する。	関係機関に要望中したが改善されなかった。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○みんながあいさつをする地域づくりの推進	積極的な声かけ・あいさつ運動は、子ども達と小・中学校と連携で実施	小針小学校、小針中学校の両校で取り組みしている。	各学校の児童、生徒とも実践中で更なる向上が望まれる。
○お互いの得意なことを出し合い、交流し、仲間づくりができる場の開設	机、椅子があればできる施設（公民館、公園等）	小針青山公民館に要望した。	ロビーなどにテーブル、椅子、照明器具が増設された。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会、民生委員・児童委員、友愛訪問員、社協、包括支援センターと情報共有できるネットワークづくり	自治会に福祉部や友愛訪問制度を確立	加入自治会に福祉部設立、友愛訪問制度体制を要望する。	未体制の一部自治会に理解と取り組みが見られた。
	適度なおせっかい	隣近所の絆の必要性を講習会、研修会などで周知する。	災害発生時などで「絆」の必要性が理解認識された。
○地域のリーダーの人材育成	人材育成講座の開催	講演会、研修会などの開催をする。	コミ協で開催した（1回）が人材育成は道半ばである。
○災害時等に備えた情報の共有	避難所、避難経路の情報提供と連絡網づくり	新潟市配布の改正ハザードマップにより周知を図る。	改正ハザードマップの理解と周知が、一部住民に戸惑いが見られた。
○地域の結びつきを強化（絆づくり）	イベント参加の呼びかけ	自治会、コミ協などのイベントポスター掲示と、自治会回覧で周知を図る。	各団体イベントは自治会掲示板、回覧板で周知された。

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：黒崎南ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成31年 4月 1日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○だれもが気軽に参加できる機会の提供を推進 ○地域交流のきっかけづくりを推進	各地区の集会所や公民館などの活用	黒崎南まちづくりセンターを拠点に、ふれ協各自治会や各種団体の活動内容を周知・発信する資料づくりの場に活用したり、地域のお茶の間広場や黒崎南ふれあい協議会主催の輪投げ大会やフロアカーリング大会などの事業を実施する。	まちづくりセンター内設置の印刷機・コピー機等を活用して各団体の情報発信が活発化された結果、地域間の情報伝達が格段に向上して活性化が促進された。
	クリーン作戦、収穫祭、運動会、敬老会など、各種行事の活発化	西区一斉クリーン作戦や地域のふれあい運動会・農業まつりなどの各種行事を行い各地区の活性化を促進している。	拠点となるまちづくりセンターの利用が進んだ事により各種会合、行事等が予定通りに開催できる利点が生み出されている。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○地域の高齢者を見守るため、隣近所で声の掛け合いを推進 ○子どもの見守り活動の推進	地域でのあいさつ運動の実施	年々少子高齢化が進んでいる中で、当地域は農村集落で二世帯以上の同居住宅が多い事が幸いし、自治会等の取り組みが無くとも自然発生的に声掛け運動が成されている。	農村集落で高齢者も自前の田畑を有しているため、枝豆収穫時期には近所の農家に手伝いに行ったり、家庭菜園等楽しんだりして元気で暮らしている高齢者が多い。
	まめっこクラブの活動を周知し、地域全体での見守りの実施	民生児童委員・木場交番等を含めた学校見守り隊を中心に活動している。	南小児童も安心して勉強や遊びを楽しんでいる。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○隣近所で協力し合う地域づくり	各自治会のクリーン新潟推進員を中心にゴミの分別方法やごみ出しルールの周知徹底を図っている	各自治会のクリーンにいがた推進員を中心に活動を行い、ゴミ出しルールの遵守に努めている。	活動を通じて違反ゴミや不法投棄の減少が進んでいる。
	集落内の私道除雪を地域の方が私物のトラクターで除雪を積極的に進め高齢者世帯等への除雪作業に協力している	農村地域で多世代同居等も多い事もあり、今年の大雪の際には農家所有のトラクターが周辺の除雪作業に努めている。	積雪時のトラクター除雪が進んでいるので高齢者からの意見要望や苦情等は少ない。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会の活動の積極的な広報 ○高齢者を地域でささえ合う体制づくり	回覧板の活用	各自治会で全戸配布資料や回覧資料を黒崎南まちづくりセンターで印刷して情報を積極的に発信する活動を通じて、地域の情報収集・情報伝達が深まる活動を促進している。	地域の情報を出来るだけ多く発信することが出来た。
	高齢者のみ世帯への声かけ、見守り活動	地域の自治会役員、民生児童委員等を通じて高齢者の見守りを実施している。	年々高齢者が増加している中で、当ふれ協では特に問題となる事例が少ない。

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

コミ協名：大野校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成31年3月20日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会・町内会が中心となり世代を超えた人たちが集える場を開設 ○サークルや団体同士が交流できる行事の実施 ○自治会内の有志やサークル活動などを自治会、町内会で支援する仕組みづくり ○近所同士のあいさつや声かけの活発化	餅つき大会、納涼祭、盆踊り大会、賽の神などの地域行事の開催	さいの神、夏祭り、餅つき大会、盆踊り等地域行事の開催は各自治会でも活発に実施。	子どもから高齢者まで多数参加し、地域のコミュニケーションの場となる。 地区別に特色あるサロンの開設がすすんでいる。
	お茶の間サロンの増設	ささえあい商品のしくみづくり推進員の協力を得、自治会単位のサロンの増設を図る、	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○子どもや高齢者の見守り活動の推進 ○民生委員・児童委員、自治会・町内会における要援護者情報の把握の促進 ○自主防災組織の立ち上げ、強化、定期的な会合などによる防災意識の醸成	学校と連携したあいさつ運動の実施	高齢者の見守り活動の推進、独居高齢者・空家の増加	民生委員不在の自治会があるので、各自治会に配置してほしい。(平成27年から継続要望) } 継続 通学路等における危険個所の総点検 } 安全マップの作製、下校時の見守り活動の強化
	登下校時の安全パトロール、交通安全指導の実施	登下校の安全指導 (月1回実施)	
	防災訓練、避難訓練の実施	防災・避難訓練の実施 (年1回実施)	

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○地域における生きがいづくり、健康づくり活動の推進 ○自治会・町内会が中心となって、地域環境の美化運動などを促進	健康講座、健康体操教室の開催	高齢者対象の健康づくり講座の開催 (年1回実施) スポーツ振興会・ふれ協共催のスポーツ教室 (年2回)	年々参加者も増えているが、さらなる参加促進の企画・広報に工夫が必要。 小地域 (自治会単位) における居場所づくりの促進を図るための戦略もはかる。 自転車道共用開始によるさらなる環境整備 (草取り等) が喫緊の課題となっている。
	老人憩いの家の活用促進	地域包括センターと共催、健康教室開催	
	公園や空き地、道路 (側溝) などの清掃活動、美化運動 (花植えなど) の実施	通学路・ランニングロードの清掃活動を実施 自転車道の草取り、危険個所の点検	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会・町内会の広報活動を活発にし、地域行事の宣伝を強化 ○区役所や区社協、地域の各種団体などと情報交換を行い、連携を促進 ○自治会・町内会が主体となり、担い手の発掘・育成を促進 ○障がいがある人でも地域活動などに参加できるような環境づくり	ふれ協だよりの発行	広報誌の年1回作成 全世帯へ配布	早期事業計画の作成広報により参加促進 年間事業として定着し毎年実施。 生涯スポーツへの取り組みとして黒崎体育館でフロアカーリング大会を開催。 PTA・学校・地域の連携強化 ボランティアへの参加協力依頼の強化・広報
	回覧板等の有効活用	各事業のお知らせで活用	
	自治会・町内会と民生委員・児童委員との情報共有	スポーツ振興会と協力して事業を開催	
	PTAと連携した地域全体での子どもの健全育成	学校へ登録して活動	
	個人の特技、技術を活かしたボランティア活動	長刀同好会等スポーツイベントへの指導参加促進	

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：立仏校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和元年7月10日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○立仏小ワンダーランドに、地域の高齢者からの参加を促進 ○高齢者の活動の中で、子どもたちも参加できるイベントを実施 ○親子の居場所づくりの推進 ○集会所、公民館、公園などを気軽に利用できるようにし、地域住民の憩いの場として有効活用 ○清掃活動等への参加を多くの人に呼びかけ、地域のふれあいの場として活用	立仏ふなっ子の活動	毎週月曜日 40回実施 (AM10:00~12:00)	子ども・保護者延べ556名参加
	立仏小ワンダーランド事業	毎週月・水・土曜日開催 平日 PM3:00~4:20 土曜日AM9:00~11:20	参加者数2,090名 内訳：1年生520名、2年生548名、3年生583名、4年生271名、5年生165名、6年生3名
	地域の茶の間事業	地域に茶の間もあるが、さらに進めている。	黒崎地区保健センター等と推進している情報の共有等
	地域の公園清掃等	地域の公園清掃は定期的に行われています。	確実に実施されている。
	あいさつ運動を地域全体で推進	立仏小学校で指導されております。また、各自治会でも推進しております。	体育系の高校生のあいさつが良くなった。
	西区一斉クリーンデーへの積極的な参加	8月5日(日)実施	各自治会とも参加が多く、363名が参加されました。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○各自が隣近所とのコミュニケーションを密にし、特に高齢者や子どもたちへの声掛けを積極的に実施 ○セーフティスタッフの増員を図り、児童の安全を推進 ○年間を通じて夜回りができるような体制づくりを協働で推進 ○大人も子どもも防災意識の醸成を促進	通学時交通指導の実施	交通安全推進員による毎月10日登校時の街頭指導及び子ども見守り隊による毎日の登校時の交通指導見守り。	無事故であり、長期実施の成果だと思えます。
	防犯灯の点検や不法投棄の見回り	生活環境部会による夜間巡視を行いました(12月9日(日))	不良箇所なし。8名参加。
	生活環境部会による定期的な点検活動		
	総合防災訓練、あそぼうさいの実施	避難所運営体制検討会：9月9日(日)実施 あそぼうさい：6月16日(土)実施	32名参加 153名参加

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○高齢者等の「見守り」推進 ○生涯学習の推進 ○遊歩道の利用促進	友愛訪問、声掛け活動等の推進	民生委員・児童委員、地域老人会等でやっている。	
	施設めぐりや健康教室等の実施	動く市政教室(資源再生センター、郷土博物館等)：7月14日(土) さわやか健康体操：6月2日(土) 自ら進める健康づくり教室：9月5日(水)	26名参加 20名参加
	遊歩道を利用したウォーキング等のイベント		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○地域住民が自治会の活動、行事に積極的に参加し、住民同士のコミュニケーションを深めて情報の共有を促進 ○屋間在宅者による情報共有や連携の仕組みづくりの推進 ○若い世代や子どもたちに積極的に働きかけ、早い時期からの地域活動、福祉活動への参加促進 ○自治会役員などへの積極的な女性登用。また女性からも積極的に参画できる雰囲気づくり	幅広い年代層を対象とした、餅つき大会等の交流イベントへの企画・実施、参加呼び掛け	○教育文化部によるソフトバレーボール大会：7月14日、17日、21日、31日 笹団子作り、「じわ」料理作り：9月30日、10月14日 「学校へ行こう」そして学ぼう(人とのコミュニケーション)：10月4日	32名参加 46名参加 419名参加
		○各自治会で実施 パーベキュー大会、夏祭り大会、炎の神、敬老者祝会、餅つき大会等	各自治会で交流の場として開催され、親睦を図っておられます。

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬~6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：山田校区ふれあい協議会

平成 年 月 日作成

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○子どもや高齢者、地域の人たちの居場所や地域集会の場として、学校施設や公民館、憩いの家、空き家などを有効活用（使い勝手のよい利用） ○自治会ごとに高齢者、子どもが気軽に参加できる場所を確保（一部の地域では毎週木曜にいきいきサロンを開催）	既存サロンの継続と、新たなサロン（多世代交流や高齢者対象）の立ち上げ	<ul style="list-style-type: none"> 親子もの作り大会 ふれあいチャレンジカップ大会 紙芝居事業 カラオケ発表会 	<ul style="list-style-type: none"> 親子一緒に「ミニ四駆」を制作し、もの作りの楽しさを味わった。 囲碁、将棋、オセロ、ゲートボール等の競技を行い成績優秀者を表彰した。 伝説や児童文学、教育画劇などの紙芝居を実演し、道徳性、共感性の向上を図った。 楽しく歌って健康増進と鋭気を養った。
	老人会や子育て世代（親子）の協力を得て実施		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○空き家とその周辺環境の整備を検討 ○地域見守り隊を結成し、危険箇所など地域の定期的な見回りを強化 ○自治会・町内会の広報活動の強化により、防犯、防災意識の啓発促進	自治会・町内会が中心となって継続	<ul style="list-style-type: none"> 自治会が中心となって、常に住民同志の意見交換を継続して行っている。 交通安全推進協議会（登下校時の見守り強化） 防災訓練の実施 校区内の不具合箇所の調査・点検 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会役員、消防団、民生委員、老人会や住民の意見を受け入れる体制に心掛けている。 学校の後援会、PTA、ボランティアの協力がより必要となっている。 各自治会単位で訓練を実施している。 各自治会単位で不具合箇所を見つけ、協議会で検討し、西区役所及び新潟西警察署等に改善要望した。
	防災、救護訓練（要援護者マップ等利用）の継続実施		
	避難完了の目印の設置などの協議、検討		
	セーフティスタッフを随時募集し、体制を強化		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会・町内会が中心となって、ごみ出しルールの意識向上や不法投棄の防止を強化 ○クリーンアップ活動を持続的、計画的に実施 ○公園で子どもたちが遊べる環境を検討	ごみ分別講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別を常に周知徹底し、不法投棄の防止。 ごみステーションの、毎日清掃と不法ごみの確認。 「西区一斉クリーンデー」に参加 毎月公園（地域内）の草取りと清掃活動 歩け歩け健康ウォーク（年1回） 公園と周辺のクリーンデー（年1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄が無くならないで、困っている。 全員に当番が回るので、身をもって感じている。 資源ごみの回収は、自治会の収入源となり、力を入れている。 地域住民が子供と一緒に、公園や周辺道路のごみ拾いを行い、環境美化の推進をはかった。
	月1回程度、自治会・町内会内の点検、清掃を実施		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H30)	成果・課題等
○自治会・町内会における地域の課題や情報の周知と農村部との連携強化 ○子育て世代、若い世代とのコミュニケーションを構築し、地域の文化、取り組みなどを次世代に継承 ○様々なボランティアに関わる人材の発掘と社会参加 ○見守り、支えあい活動などの体制づくり	地域の子供祭りなどへの参加	<ul style="list-style-type: none"> われら信濃川探検隊（ふるさと村～河口付近まで） 地域芸能保存事業（小学生が太鼓、笛で演奏披露） 福祉バスで行く施設見学 PTAバザー（小学校文化祭時） 	<ul style="list-style-type: none"> 4年生を対象に「総合学習」の一環として、川の役割や水辺の様子を学習した。 新潟まつり、黒埼まつり等で、日頃練習してきた「やきふな太鼓」（笛を含む）を演奏披露した。 「中野邸記念館」や「月潟郷土物産資料室（角兵衛獅子）」を見学。 地域の協力者からも参加していただき、むかし遊びの部屋やポップアップなどで、子供との触れ合いの機会となった。
	ボランティアに関する情報提供を推進		
	高齢者の孤立、悩みに対する相談支援者などを自治会・町内会で協議検討し、相談会を開催		

【スケジュール】 ①3月上旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月上旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告